

製品保証について

- 販売店様へ
 - ・この取扱説明書は取り付け後、必ずお客様へお渡し下さい。
- お客様へ
 - ・この商品を譲ったり、貸したりする場合は必ず本取扱説明書を含めてお渡し下さい。
 - ・本製品が正常なご使用状態で、製造上の原因による故障が生じた場合、補償期間中において無償修理致します。本保証書のお受け取りに際しては、販売店印等の記載漏れがないことを御確認下さい。

製品保証書

製品名	トムス H.I.D. フォグランプキット (25W 仕様)		
バルブタイプ		色温度	5500K
製品番号		商品購入日	年 月 日
保証期間は購入日より1年間です。(但し、販売店印無きものは無効です。)			
取付車両名		車両型式	
お客様住所			
お客様氏名			
ご連絡先	TEL	携帯	
販売店名 (販売店印)			故障状態
発売元：株式会社トムス 営業部 〒158-0082 東京都世田谷区等々力 6-13-10 TEL:03-3704-6191 FAX:03-3704-9486			

安全上のご注意 (必ずお読み下さい)

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使い頂き、あなたや他人への危害や損害を未然に防止する為のものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示する為、誤った取扱をすると生じる事が想定される内容を下記のように**警告**と**注意**に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。本取扱説明書の警告、注意事項を守らなかった事が原因で発生した事故につきましては、責任を負いかねますのでご注意ください。



警告 : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合の内容

注意 : 人が障害を負う可能性及び物的損害が想定される内容



- ガラス球内部の圧力が高い為、落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないで下さい。バルブが破損した場合、ガラスの破片が飛びケガの原因となります。
- バルブ交換時は必ず電源を切り、バッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。また、バッテリーを外していても安定器 (バラスト) 内に残った電気が放電する場合がありますので、作業の際はゴム手袋等を着用して下さい。感電やケガ、火災の原因となります。
- 取り付け時はバルブコネクターの接続、バックカバーの装着を確実に行ってください。また、ハーネス (電線) の噛み込み等が無いよう、確実に装着してください。火災の原因となることがあります。
- バルブ単体では絶対に点灯させないで下さい。灯具を装着せずに点灯すると感電や破裂の恐れがあり大変危険です。
- バルブは水気を避けてください。水気が付いたまま点灯すると破裂の恐れがあります。万一、水気が付いてしまった場合は、よく拭き取り、十分に乾燥させてから使用してください。
- バルブとコネクターを接続していない状態では、絶対に電源をONにしないで下さい。バルブコネクター部分に高電圧が発生し、感電する恐れがあります。
- 電源がONの状態では高電圧が発生し、感電する恐れがあり、大変危険ですのでバルブ、ハーネス等に触れたまま電源を入れないで下さい。また、点灯中は絶対にバルブコネクターを抜かないで下さい。
- 点灯時に紙や布などで覆ったり、燃えやすい物を近づけないで下さい。火災等の原因となります。
- 引火する危険性のある物 (シンナー、ガソリン等) 付近では点灯しないで下さい。爆発や火災の原因となります。
- 幼児の手の届く所にバルブを置かないで下さい。飲み込んだり、割ってケガの原因となる事があります。
- バルブを改造して使用しないで下さい。故障の原因となるだけでなく、感電、破裂、発火、発煙の原因となり大変危険です。



- 灯具へ装着する際は、外管ガラス球部分に落下等の強い衝撃や灯具との接触による傷等を与えないよう注意してください。また、これらの衝撃や傷等を与えたバルブは絶対に使用しないで下さい。破裂の原因になる事があります。また、使用済みのバルブは割らないで下さい。ガラスの破片が飛び散り、ケガの原因となります。
- 点灯 / 消灯を頻繁に繰り返すと寿命低下や不灯の原因となります。
- 本製品は製品の特性上、使用初期の照射色から、点灯時間及び劣化の進行により、照射色が変化します。
- バルブコネクターの接続は確実に行って下さい。不確実な接続は不点灯や発火、発煙の原因となります。
- 長時間停車時の連続点灯は灯具過熱となる為、またバルブの保護の為避けてください。
- 正確に装着したにもかかわらず、点滅を繰り返したり発光色が極端に変化し、正常に点灯しない場合は速やかに弊社またはバルブ取扱店にご相談下さい。
- バルブ切れ等によりバルブを交換する際は、左右のバルブを同時に交換して下さい。片方のみを交換すると、左右の照射色違いの原因となります。
- フォグランプの形状 (フォグランプの大きさ、フロントレンズ、リフレクターなど) により車両によっては照射色の見え方が異なる場合があります。また、見る角度により色味が異なる場合があります。予めご了承ください。

TOM'S

<http://www.tomsracing.co.jp>

トムス H.I.D. フォグランプキット

25w 仕様

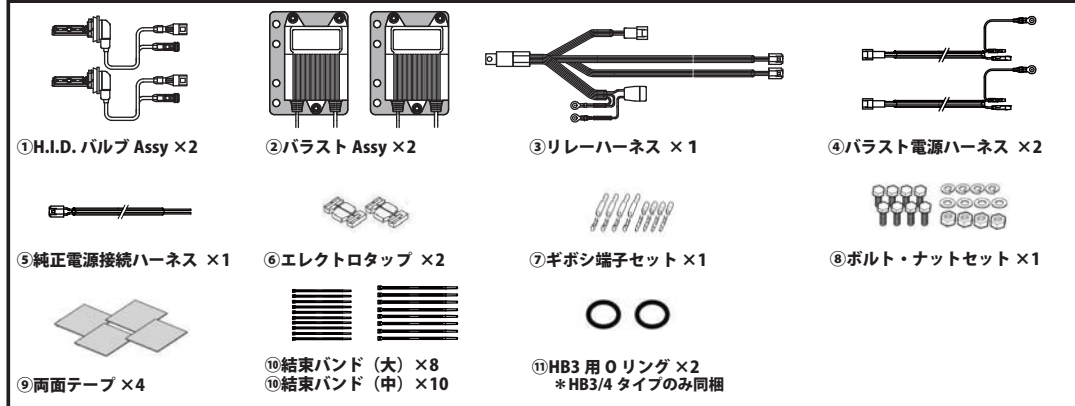
取扱説明書

この度は、トムス H.I.D. フォグランプキットをお買上げ頂き、誠に有難うございます。

本製品は、自動車用純正フォグランプのハロゲンバルブから H.I.D. バルブに交換するためのシステムです。安全に正しくご使用して頂くために、必ずご使用前に「取扱説明書」をよくお読みになり、内容を十分ご理解頂いた上でご使用下さい。

また、お読みになった後は、ご使用頂く方がいつでも見られるところにご購入の際のレシート、領収書等と一緒に保管して下さい。

商品構成 (バラスト Assy、付属品) バルブタイプ : HB3/4 or H8/9/11



取付上の注意事項

- 車輛部品の取り外し及び取り付けは、車輛の整備要領書に基づいて行ってください。
- 作業をはじめの前に以下の注意事項をよくお読み頂き、正しい取付けを行ってください。
- 注意事項を守らなかったために発生した不具合については責任を負いかねる場合がございます。
- 本製品には取付工賃は一切含まれておりません。また、クレーム時の作業工賃等の保証は一切致しかねますので予めご了承下さい。

注意

- 取付作業は火傷の恐れがありますので、エンジン及びフォグランプが冷えている状態の時に行ってください。
- H.I.D. バルブ交換作業は、必ず平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。また、車両はエンジンを停止させ、サイドブレーキを掛け、ギアはニュートラルかパーキングにして行って下さい。
- H.I.D. バルブ交換作業時には、必ずヘッドライト (フォグランプ) スイッチを OFF、更にバッテリーのマイナス端子を外して下さい。
- ランプ点灯時及び消灯直後はランプが大変高温になっており、火傷の恐れがありますので、絶対に触らないでください。
- H.I.D. バルブは、落としたり、キズを付けたりしないで下さい。また、ガラス部に手で触れたり、汚れを付着させたりしないで下さい。機能の低下や寿命時間の低下につながる場合があります。万が一触れてしまった場合はアルコールで汚れを取り除いて下さい。
- コネクターやターミナル端子の脱着は、リード線を引っ張らず本体をもって確実に行って下さい。リード線の断線や不確実な接続は、不点灯の原因となります。

バラスト Assy の取付手順 (基本配線)

1. 取り付け準備

車輛からフロントバンパーを外します。(取り外し方は整備要領書を参考にして下さい。)

⚠️「①バルブ Assy」装着に際し、作業性が悪いとバルブ破損の要因となりますので必ず取り外して下さい。

2. バラスト Assy の取り付け

「②バラスト Assy」の裏側に「⑨両面テープ」を貼り付け、バルブ側配線が Fog ランプユニットまで届く位置に固定して下さい。

「②バラスト Assy」は必ず脱落が無いように、「⑨両面テープ」、「⑩結束バンド」及び「⑧ボルト・ナットセット」を使用してしっかり固定して下さい。

⚠️ 両面テープを張り付ける際には、車体貼り付け位置の脱脂を行って下さい。

3. 取り付け後の確認

配線や取付けに間違いがないかを確認します。

車輛ハーネスやキットハーネスを無理に引っ張ったり、押ししたり、噛み込んでいないかを確認してください。

部品の締め付け忘れ等がないか、もう一度確認して下さい。

4. 復元作業及び動作確認

はずした部品を元の位置に取り付けます。

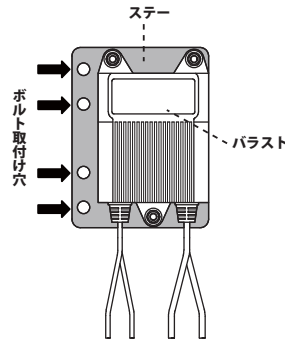
Fog ランプが点灯するか確認して下さい。

他の車輛電気部品が正常に動作するか確認して下さい。

(ランプ類、オーディオ類など)

5. 光軸調整を行って下さい

光軸調整は車両整備要領を参考にして下さい。



<ハイブリッド車輛にお取付の際の注意事項>

ハイブリッド車輛にお取付の際には、必ずバラスト Assy のステーを組込んだ状態でお取付下さい。
ステーを外して装着するとユニット故障の原因となる可能性があります。

H.I.D. システム配線図 (HB3/4,H8/9/11)

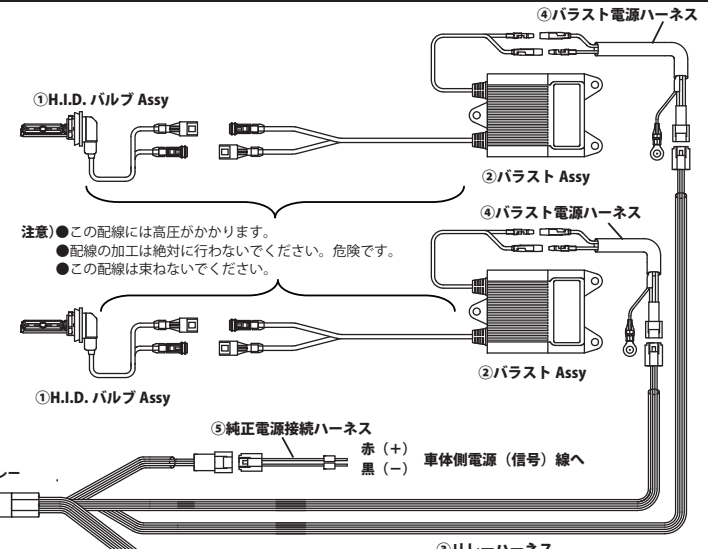
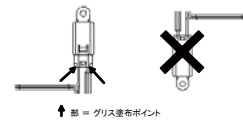
<お取付けに関する注意事項>

「③リレーハーネス」のリレー及びヒューズケースをお取付けの際、

1. 必ず水のかけにくい場所にお取付け下さい。
取付位置によっては、車輛グリルを通じて侵入する水に浸り、故障を招く可能性があります。

2. ハーネスが必ず下を向く方向で固定して下さい。
リレーを下側にした固定の場合、リレー端子受側カバー部に水分が溜まって端子部分の酸化で故障する可能性があります。

3. リレーの下側の部分にグリス塗布を行っていただくと防滴対応となります。



注意 ●この配線には高圧がかかります。
●配線の加工は絶対に行わないでください。危険です。
●この配線は束ねないでください。



*「⑥エレクトロタップ」又は「⑦ギボシ端子接続」

HB3/4,H8/9/11 タイプバルブの取付手順 (基本配線)

1. バルブ、シェードの干渉の確認

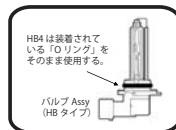
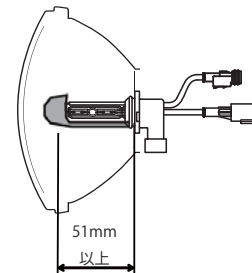
灯具内にシェードがある場合、バルブが干渉しないか必ず確認を行って下さい。

バルブがシェードに干渉すると異常発熱を起こしバルブが破損します。

⚠️ (干渉による破損は保障対象外となります。)

バルブ挿入前に確認して下さい。

灯具内のクリアランスが 51mm 未満の場合は本製品はお取付けが出来ません。



2. バルブ Assy の取り付け

Fog ライトよりバルブを取り外します。

「①H.I.D. バルブ Assy」を灯具の爪に合わせて回転させて取り付けます。

(HB3 バルブを取り付ける場合には付属の「⑩HB3 用 O リング」と交換して下さい。)

⚠️ バルブ Assy は真っ直ぐに挿入してください。斜めに入れるとバルブを破損することがあります。

(灯具挿入時の破損は補償対象外となります。)

3. 車輛信号線の取り付け

「⑤純正電源接続ハーネス」の黒線及び緑線をヘッドライト内既存の配線にプラス・マイナスを確認した後接続します。「⑥エレクトロタップ」又は「⑦ギボシ端子」による接続にて)



*バルブは灯具に対して真っ直ぐに挿入して下さい。

トラブルシューティング (故障かな?と思ったら...)

●バルブが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> コネクター類が確実に接続されているか確認する。 アースケーブルが確実に接続されているか確認する。 バッテリーが弱っていないか (9V 以上あるか) 確認する。 車輛のヒューズが切れていないか確認する。 片側だけ点灯しない場合は、点灯する側の「②バラスト Assy」を左右入れ替えてバルブが点灯するか確認する。
●配光がでない	<ul style="list-style-type: none"> 「①バルブ Assy」が正しい方向で取り付けられているか確認する。 「①バルブ Assy」を固定するスプリングなどが確実に固定されているか確認する。
●点灯した時の色合いが異なる	<ul style="list-style-type: none"> 点灯直後から数分間は、黄色系や青色系などの本来の点灯色とは異なった色合いになる場合があります。 これは H.I.D. システムの特性上発生するもので故障ではありません。 取付直後の点灯では、左右の色合いが異なる場合があります。これは H.I.D. システムの特製上発生するもので故障ではありません。 点灯時間を重ねるとバルブの点灯色合いは安定します。
●その他	<ul style="list-style-type: none"> お取付け車輛によっては、車輛側の電気制御方法と H.I.D. システムキットとの関連で、車輛のダッシュボード表示のモニター LED が常時点灯もしくは点灯しない場合がありますが、H.I.D. キットの故障ではありませんのでご了承ください。